

事務事業名	障害者訪問入浴サービス事業(障害者自立支援)		所属部局	保健福祉部		単位数	5039				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	福祉課		課長名	有泉 久				
			所属担当	障害者自立支援担当		担当者名	河野 慎治				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	01	一般	03	01	02	040	25	
施策	30	障害者福祉の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業						
				<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業						
				<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> その他の事業						
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度)		法令根拠	南アルプス市地域生活事業実施要綱 南アルプス市重度障害者入浴サービス事業運営要綱							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)								
	地域における身体障害者の生活を支援するため、訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
	サービス事業所へ委託。1回の利用料11,000円のうち10%が利用者負担。市は90%を委託料として事業所へ支払う。		社会福祉費扶助	3,921							
					計	3,921					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	委託契約した事業所に対し、毎月のサービス提供実績に応じた委託料を支払う。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位数
	27年度活動予定	委託契約した事業所に対し、毎月のサービス提供実績に応じた委託料を支払う。			ア委託事業所	箇所
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	居宅で入浴が困難な重度障害者		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位数
					ア身体障害者手帳1級・2級の障害者	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	身体障害者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位数
					ア利用者の実人数	人
					イ利用者の利用回数(延べ)	回
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	障害者福祉の充実		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位数
					ア満足度調査	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円	662	1,180	1,000	1,000	1,000	1,000		
		県支出金	千円	331	590	500	500	500	500		
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	381	1,157	2,421	2,064	2,500	2,500		
		事業費計(A)	千円	1,374	2,927	3,921	3,564	4,000	4,000		0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20		
		人件費計(B)	千円	91	91	91	91	91	91	0	0
		(A)+(B)	千円	1,465	3,018	4,012	3,655	4,091	4,000		0
	活動指標	ア箇所		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
	対象指標	ア人		1,409.0	1,402.0	1,500.0	1,550.0	1,600.0	1,600.0		
	成果指標	ア人		4.0	4.0	4.0	5.0	5.0	5.0		
		イ回		138.0	296.0	310.0	330.0	330.0	330.0		
	上位成果指標	ア%									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年に要綱制定。平成18年度より障害者自立支援法に基づく市町村地域生活支援事業として実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	利用者が少数であるが、在宅生活を支えるために必要な事業。計画相談支援が始まり、事業の周知もされたことから利用ニーズが高まり、利用回数が増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	自宅の浴室では介助があっても入浴できず、通所先での入浴は感染症等の心配があるため、本事業がなくては入浴の機会が得られない。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	H22年度から利用者負担金の月額上限額を超えた分の利用者への還付制度を廃止した。これまで1事業所のみの実施であったが、利用者のニーズを踏まえ、新たに2事業所と契約締結したことにより、利用者が事業所を選択できるようになった。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	障害者訪問入浴サービス事業(障害者自立支援)	所属部	保健福祉部	所属課	福祉課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 在宅で寝たきりの重度身体障害者の入浴を支援しており、福祉の充実に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 障害者総合支援法に基づく市町村地域生活支援事業として、市が行う必要がある。サービス提供は民間事業所に委託している。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 在宅で寝たきりの重度身体障害者の入浴を支援している。清潔保持や体調管理など、健康で文化的な生活を送る上で入浴は欠かせない行為であり、必要不可欠なサービスである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 専門的な介護技術や資格者を有する事業所へ委託しており、向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 公共関与がなくなると全額自己負担となり入浴を減らすなど対象者の生活の質の低下を招く。在宅生活をあきらめ施設入所を選ぶなど生活の権利が大きく制約される。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 所定の単価で実施しており困難。また、利用の抑制はサービス低下につながる。なお、市内で障害者に対する機械浴等の社会資源も十分確保できているとはいえないため、自立支援協議会の課題として投げかけて検討することは意義がある。これにより、提供事業者の限られる本事業のみに依存しない形で、入浴機会の充実を図ることは必要である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 民間事業所に委託しているため、人件費は支給決定・経理事務だけで削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 障害の有無に関わらず入浴の機会はすべての人に保障される必要がある。その中で、自宅の浴室では介助があっても入浴できず、通所先での入浴は感染症等の心配があるなど、対象者のニーズに明確に絞った事業であり、不公平はない。10%の利用者負担もあり受益者負担は適正といえる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	重度身体障害者の在宅生活を保障するうえで重要なサービスといえる。利用者が少ないが、相談支援事業との連携を図る中で周知につとめ、今後も必要なケースに対しては積極的に提供することが必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑦																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					